

第 15 回新潟リハビリテーション研究会

兼 日本リハビリテーション医学会関東地方会生涯教育研修会

日 時：2012 年 10 月 6 日（土）14:00～18:00

会 場：新潟大学医学部 有壬記念館

新潟市中央区旭町通 1-757 TEL 025-227-2038・2039

プ ロ グ ラ ム

1. 新潟リハビリテーション研究会役員会（14：00～14：55）

会場 新潟大学医学部有壬記念館 1 階小会議室

2. 新潟リハビリテーション研究会会員総会（15：00～15：15）

会場 新潟大学医学部有壬記念館 2 階大会議室

* 日本リハビリテーション医学会会員、新潟リハビリテーション研究会会員の皆様は全員ご参加下さい

3. 薬事案内（15：20～15：40）

「経皮吸収型持続性疼痛治療剤 ノルspanテープ」久光製薬株式会社

— 休 憩（15：40～16:00）—

4. 教育研修講演

1) 「成果が問われる今後の回復期リハと生活期リハ」（16:00～17:00）

《座長》新潟リハビリテーション病院 リハビリテーション科部長 崎村 陽子先生

《講師》医療法人輝生会 理事長 石川 誠先生

2000 年に介護保険制度が施行となり、同時に回復期リハ病棟が創設された。回復期リハ病棟は 6 万床以上が整備され、生活期リハとして通所リハ、訪問リハ等の整備が進行中である。振り返れば 2011 年までのリハ医療は量的整備の時代であった。しかし、これからは質的整備の時代である。医療界全体が成果が問われているが、今後の回復期リハと生活期リハは特に成果を厳しく問われる時代に入りつつある。そこで、現状を踏まえ今後の回復期と生活期のリハについて述べる。

2) 「自験例から考える脳卒中後上肢麻痺のリハビリテーション」（17:00～18:00）

《座長》亀田第一病院 リハビリテーション科部長 村岡 幹夫先生

《講師》東京慈恵会医科大学 リハビリテーション医学講座主任教授 安保 雅博先生

脳卒中後遺症の上肢麻痺の機能改善を目的として、反復性経頭蓋磁気刺激と集中リハを組み合わせた NEURO という治療を施行している。適応基準はあるが、良好な成績をあげている。また、ボツリヌス療法も脳卒中後遺症の上肢麻痺の機能改善を目的として、使用し良好な成績をあげている。今回、この講演では NEURO とボツリヌス療法について話す。

○教育研修講演は日本リハビリテーション医学会専門医・認定臨床医生涯教育研修会（20 単位一括 2,000 円）、日本整形外科学会専門医資格継続もしくはリハビリテーション医資格継続単位各 1 単位（1 単位につき 1,000 円）に認定されています。

＜日整会専門医資格継続分野番号＞

・教育研修講演 1)：13. リハビリテーション（理学療法、義肢装具を含む）14. 医療倫理・医療安全・医療制度等

・教育研修講演 2)：8. 神経・筋疾患（末梢神経麻痺を含む）13. リハビリテーション（理学療法、義肢装具を含む）

○参加費 医師 1,000 円、コメディカル 500 円

○当日は職員駐車場を開放いたしますのでお車の方は西門からお入り下さい。

○新潟リハビリテーション研究会会員は平成 24 年度の会費納入も受け付けいたします。

○当日は、ご参加いただいた確認のため、御芳名の記帳をお願いいたします。

《共催》 新潟リハビリテーション研究会

久光製薬株式会社